

地区防災計画学会シンポジウム (第40回研究会)

9.17

オンライン開催

2022年7月現在、コロナ禍が続く中で、線状降水帯、記録的な大雨等の言葉を毎週のように耳にするようになっている。また、6月には能登で震度6弱の激しい揺れを記録する等地震も発生した。コロナ禍において、激甚化、頻発化している災害にどのようにコミュニティは立ち向かうべきか。コロナ禍でのコミュニティの複合災害への対策はどうあるべきか。コミュニティの防災活動や地区防災計画づくりの観点から、議論を行う。



室崎益輝
地区防災計画学会会長

シンポジスト等 (調整中)

室崎益輝	神戸大学名誉教授・地区防災計画学会会長
加藤孝明	東京大学生産技術研究所教授/社会科学研究所特任教授
磯打千雅子	香川大学IECMS地域強靱化研究センター准教授
西澤雅道	元福岡大学法学部准教授
坊農豊彦	大阪公立大学CERD特別研究員 (関西情報センター主任研究員)
金 思穎	専修大学人間科学部兼任講師 (福岡大学非常勤講師) ほか

日時	2022年9月17日 (土) 13:00~15:30 (予定)
場所	オンライン開催 (YouTubeによる同時配信等)
主催	地区防災計画学会
共催	情報通信学会災害情報法研究会、(一財) 関西情報センター
後援	Yahoo!基金
対象	地域防災力の強化や地区防災計画づくりに興味のある方 参加費無料・地区防災計画学会HPで申し込まれた方に視聴方法を御連絡

連絡先 地区防災計画学会事務局 事務局次長 坊農豊彦
540-6305 大阪市中央区城見1-3-7 松下IMPビル5階
一般財団法人関西情報センター 気付
MAIL: infoアットマークgakkai.chiku-bousai.jp
(※アットマークを@に変更して御送信ください。)

コロナ禍でのコミュニティの

複合災害対策